

## 演題

# 健康咬合を目指した L・B・O

(ロアー・バッカライズド・オクルージョン)

## の活用法

### 抄録

現在、日本は世界にも例をみない超高齢化社会に直面しています。その上少子化も一向に改善される気配もありません。

我々歯科医療に属する者としても歯科保健報酬が思うように伸びず、頭打ちの状態が続いている事に危機感を感じざるを得ません。

それでも、歯科治療に対して、患者さんが健康に過ごす為の食事（噛む事）に対する要望は益々高くなっていると日々感じています。

そこで、患者さんの要望を理解し信頼を得る為に口腔内だけではなく全身と咬合がいかに密接に関係しているかを考えてに全身の中の口腔という大きな視点から口腔内を知り、健康咬合と言うものを考えつつ L・B・O の活用の方法を学んで行きたいと思えます。

L・B・O とは下顎の頬側咬頭を上顎の中心裂溝に咬合させる事により、歯軸に対してまっすぐな力がかかるようになり、全身的なバランスを改善する方法で、入れ歯の咬合調整で痛みを取り除いて起き上がりを止める事により内面を特別な条件が無い限り殆んど削る事はないやり方です。

本生涯研修会では患者さん（被験者）を呼んで臨床を実践しながら九州 L・B・O の代表の前田誠治氏も招きその場でディスカッションを重ねていくというアメリカンスタイル（人に迷惑をかけない限り休息自由）の研修方法で患者さんの健康咬合を考えながら共に勉強して行きたいと思えます。